



年 組 名前

道新でワークシート

19年春

道職員 内定辞退 57.4%

A

2019年春採用の道職員（大卒程度の事務職）の内定辞退率が10月1日現在で57.4%となった。昨年まで2年連続で超えていた6割は下回っているものの、依然として高い水準が続く。転職がない札幌などの市役所を選ぶ傾向は変わらず、道は12日に初の内定者交流会を企画し、人材のつなぎ留めを図る。

道によると、今年の採用試験には05年以降で最多の1709人が受験。来春の採用予定125人に対し、357人を合格とした。このうち現在入庁を希望しているのは152人とどまり、57.4%に当たる205人が内定を辞退するか回答を保留している。

道は受験者を多く集める

続く高水準 受験者最多も「滑り止め」に

ため14年春採用から、他県や札幌市と同じ日に行っていた1次試験を1カ月前倒し。他自治体との併願が可能となり、公務員志望者の間では「試験慣れのための滑り止め」とも言われる。

このため、仕事の専門性の高い国の機関や、札幌市など転職がない市町村に入ろうと、道の内定を断る学生が続出。辞退率は17年春に62.9%、今春は64.2%と2年連続で6割を超えた。来年春の採用に向けては、道人事課の職員が内定者に頻りに連絡を取る「電話作戦」などを行い、辞退率はわずかに下がっている。

道は12日に札幌、19日に東京で内定者交流会を開き、各部署の担当者が仕事の内容を紹介するほか、内定者同士で連絡先を交換して親睦を深める。これまでに8月末までしていた配属先の希望調査も年末まで延ばす。道人事課は「これ以上、辞退者を出さないために、同期のつながりを強め、仕事のイメージを持ってほしい」と強調している。

(竹中達哉)

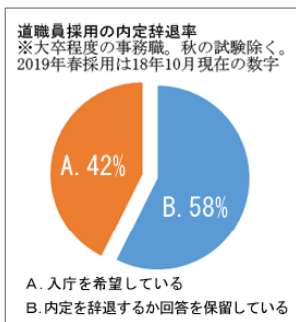
2018年10月10日朝刊総合（記事は再編集しています）

①記者は A の空欄に

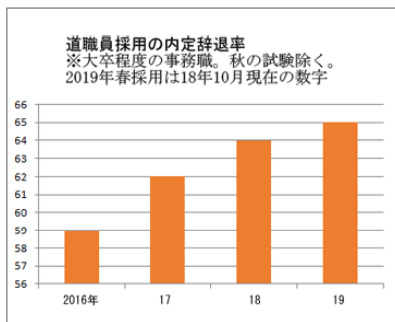
- ・ここ数年の内定辞退率が60%前後と高止まりの状況が続いている。
- ・14年以降、辞退率が急上昇した。

という情報を一目でわかってもらう資料としてグラフを作成しました。記者の意図を表現するのに最も適切なグラフを次の中から選びなさい。

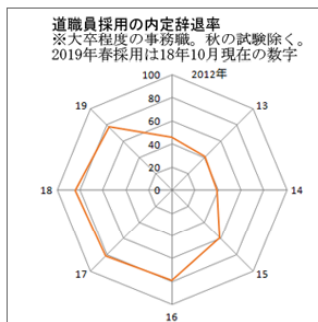
ア



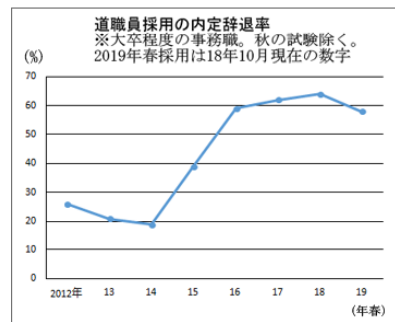
イ



ウ



エ



②これ以上辞退者を出さないために、道は何をしていますか。「道」という言葉を使い、一つ書きなさい。